



## 河合永充、永平寺町長誕生

# つよい永平寺をつくる

合併以来8年ぶりの永平寺町長選は、現職と新人の一騎打ちの厳しい選挙戦となった。

新人、河合永充氏が993票差で現職の松本文雄氏を破り、初当選を果たした。前回の無投票から一転、町を二分した

争いとなったが、河合氏は41歳という若さとパワーで初挑戦ながら激戦を制した。

当選が決まると選挙事務所には約500人も支持者が詰めかけ、ステージに登場した河合氏が花束を受け取る万歳三唱を繰り返し、会場は歓喜にわいた。「つよい永平寺町をつくる」と町民参加のまちづくりや財政改革などを訴えて勝利した河合氏は「町の豊富な資源を光らせ、にぎわいを取り戻したい。感謝と責任を忘れずに町を盛り上げていきたい」と決意を述べた。

河合氏は昨年末に出馬表明すると自民党県連の推薦を取り付け、地元の鈴木宏紀県議

はもとより田村康夫県会副議長も積極的に支援し、正に県議選さながらの選挙体制を布いた。さらに、前回まで松本氏を支援していた和田高枝元県議もバックアップ。町議では、原田武紀・斉藤則男・長岡千恵子・川崎直史・酒井要氏が付き、現職有利という常識を跳ね除け見事、永平寺町のトップに就いた。

時同じくして、イタリアでは39歳の新首相が誕生する。新首相に指名されれ民主党（中道左派）のマッテオ・レンツィ氏はイギリス史上最年少の首相であり、市長からの転身。異例づくめの若き野心家は壊し屋の異名を持ち、古い習慣



## 河合氏7つの約束

- 町民が町づくりの主役となる仕組みをつくりまします
- 農業・産業が活動しやすい環境をつくりまします
- 子育ての町を充実させ、

子ども達の笑顔あふれる町をめざします

- 孤独を感じない福祉を進めます

- 地域コミュニティを高め、命・暮らしを守ります

- 合併特例後の歳入減に備え、財政改革を行います

- 町職員がイキイキと働く

「チーム越前町役場」をつくりまします



河合 永充 氏

かわいひさみつ

永平寺町松岡室・農業  
昭和 48 年1月 16 日生  
福井工業大学工学部卒  
平成 18 年7月  
永平寺町議会議員初当選  
平成 22 年8月～24 年7月  
永平寺町議会議長  
平成 25 年 10 月  
永平寺町議会議員辞職  
平成 26 年3月  
永平寺町長に初当選

に縛られ、改革が遅々として進まない政治・経済界の「解体」に挑むという。

河合氏も「固定観念からの脱却、民間感覚で、積極的な新しい町づくり、そして将来の責任。今、動く時！」をスローガンに掲げ、町民に町を発展させ、未来へつなげることが大切と訴えた。その熱意を如何に形にし、的確な判断と行動で町民が納得するしつかりと将来を見据えた町づくりを進めることができるか、手腕の見せどころだ。